タイトル（16ポイント）：

副題（12ポイント）

著者名（10.5ポイント）

（所属名）（10.5ポイント）

要旨（11ポイント）

　テンプレートに沿って原稿を作成してください。タイトル，副題，見出し，図表のタイトルのフォントは，和文（仮名・漢字）は「MSゴシック」，英数は「Arial」を用います。サイズはその都度ポイントを示しています。副題を付ける場合は，タイトルの末尾に全角コロン「：」を付け，次の行に副題を記します。

氏名（団体会員名），本文はすべて10.5ポイントのサイズで，和文（仮名・漢字）は「MS明朝」，英数は「Century」を用います。

本文は全角40字×40行ですが，1ページめはタイトル，氏名，所属を10行分に収め，要旨，キーワード，本文が30行となるようにします。要旨は全角で300字～400字程度とします。

和文の場合，本文中の読点は「，」，句点は「。」を用います。英数字はすべて半角とし，かっこは全角とします。

キーワード（11ポイント）

　キーワードは5個以内とします。「，」で区切ってください。

1.　見出し（11ポイント）

1.1　小見出し（10.5ポイント）

章節立てには半角数字とピリオドを用いてください。見出しは，ピリオドの後に全角1スペースを空けて書きます。小見出しは，ピリオドの後にスペースを設けず数字を置き，最後の数字にはピリオドを付けず，全角1スペースを空けて書いてください。

1.2　本文中の注表記（10.5ポイント）

注は尾注とし，本文末尾と参考文献の間に記します。注を施した本文中の該当箇所には上付き半括弧で数字を付けます。

例：スチューデントサクセス1)

2.　見出し（11ポイント）

2.1　表（10.5ポイント）

表のタイトルは，サンプルのように表の上に記載してください。タイトルの上に1行，表の下に1行の空白を設けます。

　表1　表のタイトル（10ポイント）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 表内は | 本文と | 同様に | MS明朝と | Century |
| を用い， | 文字サイズは | 10ポイントを | 基本として | ください。 |

2.2　図（10.5ポイント）

図のタイトルは，サンプルのように図の下に記載してください。図の上に1行，タイトルの下に1行の空白を設けます。

　図1　図のタイトル（10ポイント）

3.　第3章のタイトル（11ポイント）

本文の末尾に続いて，注と参考文献を記載します。

注（11ポイント）

1）注のフォントとサイズは本文と同じです。注番号の後に半カッコ（全角）をつけて書き始め，2行以上にわたるときは，2行目以降の最初は全角1字下げてください。

2）

参考文献（11ポイント）　　※次の例を参照してください。著者名アルファベット順に並べ，1行めは字下げなし，2行め以降は2字下げてください。

McGill, C. M.（2018）“Leaders’ Perception of the Professionalization of Academic Advising: A Phenomenography.” *NACADA Journal*, 38(1), 88-102.

Patton, M. Q.（2015）*Qualitative Evaluation and Research Methods.* SAGE Publications.

清水栄子（2015）『アカデミック・アドバイジング その専門性と実践：日本の大学へのアメリカの示唆』東信堂.

清水栄子・山﨑めぐみ・御厨まり子・島田敬久（2019）「アカデミック・アドバイジング実践者に対する能力開発の観点から」『大学教育学会誌』40(2), 103-106.